

東京大学大学院農学生命科学研究科
応用生命化学専攻（生物化学研究室） 准教授（女性限定） 公募

1	職名	准教授
2	募集人数	1名
3	採用予定日	令和5年7月1日以降
4	任期	なし
5	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス
6	所属□	大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 生物生産化学大講座 生物化学研究室
7	業務内容	1) 研究領域：農芸化学における生物化学 2) 担当予定講義・演習： （学部）基礎生物化学、生物化学、生命化学・生命工学実習、生命化学・生命工学実験 （大学院）細胞調節生化学、生命化学フロンティアⅠ・Ⅱ、応用生命化学特別実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 応用生命化学演習、応用生命化学特別演習ほか
8	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
9	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
10	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了/34万円/月～ 諸手当、賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円/月まで）の他、本学の定めるところによる。
11	社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金保険、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2) 優れた研究業績ならびに教育能力を有し、学生の教育指導等を、熱意をもって積極的に行えること 3) 生化学・生物有機化学・分子生物学・細胞生物学・神経科学などの知識や技術を使って、動物の感覚機能に関する生命現象の解明やその農学的応用に貢献する基礎研究を展開出来ること 4) 上記7の講義・演習を担当可能なこと 5) 当該研究室の東原和成教授と協力して学部および大学院の教育・研究指導を積極的に行えること 6) 女性であること
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html 2) 研究業績（学位論文、著書、原著論文、総説、その他）（応募者に下線を付すこと） 3) 教育業績（講義、研究指導等） 4) 社会貢献（学会活動、委員会活動等） 5) 競争的資金の獲得状況（過去10年） 6) 主要論文の別刷（コピー可）5編以内 7) これまでの研究概要（2,000字程度） 8) 着任後の研究方針（2,000字程度） 9) 学部学生・大学院生の教育と研究指導方針（2,000字程度） 10) 応募者を評価できる2名の方の氏名、職名及び連絡先（住所、電話、メールアドレス等）
14	応募締切	令和5年5月8日（月）必着 書類選考通過者には面接を実施します。
15	書類送付先 及び 問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 担当：永田 宏次 TEL：03-5841-1117 E-mail：aknagata[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 封筒に「准教授 応募書類在中」と朱書し、記録が残る方法で送付のこと。

		また、紙媒体での送付とともに、上記の提出書類を一つのpdfファイルにまとめ、パスワードを設定した上、E-mailで送付のこと。パスワードの連絡法については応募者の判断に任せます。
16	試用期間	採用日から6ヶ月間
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	<p>応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。</p> <p>取得した個人情報、本人事選考以外の目的には利用しません。</p> <p>東京大学は男女共同参画を推進しており、本公募では「男女雇用機会均等法」第8条の規定（女性労働者に係る措置に関する特例）に則り、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。</p> <p>外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。</p> <p>英語の能力を考慮します。</p> <p>本研究科・学部の概要、学部教育等は下記ホームページを参照して下さい。 https://www.a.u-tokyo.ac.jp/</p>